

## 施工仕様書 「ハイシーアートVM(クールタイプ)」

用途	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物（新築・改修）の内外壁面。
適用下地	旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。
施工不可部位	天端（笠木・手すり・セットバック等）や幅木、パラペットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験吹き（試験塗り）を行い、希釈量（粘度）・塗装量（厚み）・色調等を確認し、標準見本が再現できるように確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる場合があります。間隔時間は気温23℃（湿度50%）の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。
- ※ 新築下地は別途シーラーが必要になります。また改修（旧塗膜）においても、旧塗膜の種類や状態に応じシーラーや前処理が必要な場合があります。
- ※ 開缶した材料（主材）は当日中に使い切ってください。（ハンドミキサーが当たった缶の内面で錆が生じることがあります。）余った材料はプラスチック缶など錆びない容器に移し替えてください。
- ※ 材料使用前には必ず、安全データシート（SDS）を確認してください。

### 【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間	
1	下地調整	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2	下塗り	セラファンテ <sup>®</sup> 弾性カラー-Si 15kg 清水 0~0.5kg	0.3~0.4	ウールローラー リシンガン、万能ガン 口径:4~5mm 圧力:390~490KPa	1~2	4時間以上
3	主材塗り (下吹)	ハイシーアートVM(クールタイプ <sup>®</sup> ) 16kg 清水 0~1.0kg	0.18~0.23	HSガン 口径:3mm 圧力:290~490KPa ウールローラー・刷毛	1	3時間以上
4	主材塗り (上吹)	ハイシーアートVM(クールタイプ <sup>®</sup> ) 16kg 清水 0~1.0kg	0.18~0.23		1	24時間以上 (最終養生)

### 塗装上の注意事項

- セラファンテ<sup>®</sup>弾性カラー-Si
- 均質になるまで十分に攪拌し使用してください。また、塗装する際は下地が均一に隠蔽するようにムラなく、材料が垂れないように注意してください。
- セラファンテ<sup>®</sup>弾性カラー-Siは1回塗りで下地が隠れない場合には2回塗りしてください。セラファンテ<sup>®</sup>弾性カラー-Siが透けた状態になっていると仕上がりにムラを生じる事があります。
- 材料が垂れないように注意して塗装してください。
- 4時間以上十分乾燥させ、乾燥成膜していることを確認してから主材を塗装してください。
- 必ず対応する色調のものを使用してください。

ハイアーアートVM(ケールタイプ)

- ・均質になるまでよく攪拌してください。尚、施工前に試験塗装を行いパターン、ガンの運び具合、材料粘度を確認してください。

施工のポイント(吹付け塗装の場合)

- ・主材塗り(下吹)は、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにしてください。
- ・主材塗り(下吹)は、推薦器具:明治機械製作所「多彩ガンHS2A-G30」を使用してください。

施工のポイント(ローラー塗装の場合)

- ・均一にローラーに含ませて、隠蔽するようにムラなく塗装してください。
- ・ローラーで塗装しにくい又は塗装できない部位は、塗料用刷毛で塗りこんでください。
- ・中央面の塗装はタテくばり塗りし、次にタテ、ヨコとローラーを転がしてローラーマークが生じないよう、また、厚塗りにならないようにならし塗りしてください。尚、主材塗り(下塗)は目をあまり立てずに平滑に塗装してください。下地に材料がムラなく付着する程度に塗装します。
- ・素地との付着性とパターン形成の基礎となりますので、素地とのパターンを揃えることが大切です。
- ・主材塗り(上塗)は材料粘度をやや固めにし、ウールローラーで下地のパターンを活かし、きれいに見える様に塗装してください。
- ・主材塗り(上塗)の塗装方法は主材塗り(下塗)と同じですが、仕上工程となるので、ならし塗りを特に丁寧に行い、塗りムラを防止してください。
- ・主材塗り(下塗)のパターンと揃うように塗装することが綺麗に仕上がるポイントです。

施工の手順(ローラー塗装の場合)

- ・まずコーナー部(入隅)を塗装してください。この時、塗装量が多いとひび割れが起こりますので注意してください。
- ・平面塗装は、まずローラー全体に均一につけ、壁面に材料を配るような感じで塗装してください。
- ・この時、ローラーに材料をつけすぎると、既塗装面への重なりにより、ローラーマーク等が生じやすくなりますので注意してください。
- ・入隅、出隅部は塗料用刷毛で塗りこんでください。
- ・配り塗りの材料は、ローラーを上下左右にならし塗りを行い、ローラーマーク、付着ムラをなくしてください。